

キーワード

① ブログ

② シンククライアントコンピュータ

兵庫県立神戸甲北高等学校教諭 山上 通恵

① ブログ

ブログ (Blog) はウェブログ (Web Log) の略で、ウェブ上の日記と説明されることが多いが、最近では、We blog. (私たちはブログする) といった使われ方もある。日々の行動を書き記す Web 日記とは異なり、社会的な出来事や興味のある事柄について意見や批評を述べ相互にリンクしあう Web ページで、通常は記事が新しい順に時系列で並ぶ。

ブログの作成には、専用のツールが提供される。従来の Web ページ作成ソフトは様々なパターンの Web ページを作るために複雑な機能を持っているが、ブログを作るためだけのツールは非常にシンプルで、掲載したい記事を掲示板に書き込むように入力するだけで、自動的にページが生成される。簡単な作成ツールが提供されたことで、Web ページ作成ソフトや HTML を直接編集する作業が不要になり、ブログは急速に広がっている。

ブログの作者が別のブログの記事を参照して自身のサイトにコメントを掲載する場合、一般に元のページへのリンクを貼ることになるが、単にリンクを貼るだけでは元の記事の作者にはどこからどうリンクされているのかわからない。これを解決するために、ブログの多くは「トラックバック」機能を持つ。トラックバックはリンク元のサイトに「このようなページからリンクを貼りましたよ」という情報を通知する仕組みで、リンク元記事の URL やタイトル、内容の要約などが送信される。この情報を受け取った元のサイトは「この記事参照している記事一覧」を自動的に生成する。

最近では、ブログによって情報が広がり、マスメディアが後からそのトピックを追従するという事例もあり、個人の情報発信のための新しいメディアとして注目されている。

② シンククライアントコンピュータ

シンククライアントコンピュータとは、外部記憶装置を持たず、ネットワークを介してサーバ内のアプリケーションやデータを利用するシンプルなネットワーク端末のことである。

学校や企業などで、多数のコンピュータ 1 台 1 台に対して、ソフトウェアの新規導入や更新、設定の変更をする作業は大変な労力を必要とする。しかし、サーバに保存したデータが、サーバに接続されたどのネットワーク端末からも呼び出せるように、アプリケーションソフトその他もサーバから提供するようにすれば、新しいソフトウェアの導入や更新などもサーバに対して施すだけでよいことになる。

ハードディスクが搭載されていないため、ROM ベースで動作できる、起動に必要なだけの OS が搭載されていることが多い。似て非なるものに 80 年代の主流であったメインフレームがあるが、当時その端末はターミナルと呼ばれ、その大半はプロセッサを搭載していなかった。

シンククライアントコンピュータは徹底して余計な機能が削ぎ落とされ、サーバにキーボード情報やマウス情報を送るだけ、サーバから画面情報を受け取るだけという機能でよくなった。その結果、外見も薄型になりシン (thin) と呼ばれる。

シンククライアントコンピュータは可動部分がないので壊れにくく、また冷却ファンも必要としないため静粛である。メンテナンスも容易でシステム管理の負担は、労力およびコストとも大幅に軽減される。さらに外部とデータをやり取りする仕組み (フロッピーディスクドライブや CD-ROM ドライブ、USB メモリの接続端子など) を持たせないことで、外部からのウィルス混入を遮断したり、外部への情報漏洩を防いだりすることにも有効である。持ち出しが禁じられている端末を仮に持ち出したとしても、単体では使えない。誰かが勝手に設定を変更したり削除したりしてしまう心配もなく、1 台のクライアントを不特定多数のユーザが使うような学校などでの利用が今後見込まれる。